

大間野町旧中村家住宅とは



おおまのちやう
大間野町旧中村家住宅は江戸時代に旧大間野村(現在の越谷市大間野町周辺)の名主を勤めた中村氏の旧宅です。平成9年(1997年)に越谷市が寄贈を受けた後、建物を建築当時の姿に復元し、屋敷林を含めた敷地全体を保存しています。

敷地内には大正3年(1914年)建築の主屋をはじめ、ながやもん いしぐら どぞう みたけしや なや
め、長屋門、石蔵、土蔵、御嶽社、納屋が建てられています。いずれも現在では失われつつある伝統的な建築技法が用いられており、復元の際にも古材をできる限り再利用しています。令和3年(2021年)には、旧名主層の屋敷構えを今に伝える建物として国登録有形文化財に登録されました。

こにしゆきなが
中村家は家伝によると豊臣方である小西行長の家臣とされています。慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦いの後は徳川方へ従って関東へ移住し、この地を開拓したと伝えられています。



利用案内

- 開館時間** ● 午前9時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** ● 月曜日(祝日の場合は、直後の平日休館)
12月29日から1月3日まで
- 入館料** ● 一般：100円／小・中学生：50円
小学校未就学児：無料

交通案内



- 電車** 東武スカイツリーライン「蒲生駅」
西口より徒歩15分
- 駐車場** 敷地内駐車場6台、東側駐車場7台、
北側駐車場20台

越谷市保存民家

大間野町旧中村家住宅

住所 ● 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町一丁目100番地4
電話 ● 048-985-9750

越谷市保存民家

大間野町旧中村家住宅

国登録有形文化財



敷地内のようす



屋敷林
季節風などから家屋を守る役割を持つ。

土蔵
明治27年
(1894年)

火災などの非常時に閉めていた。

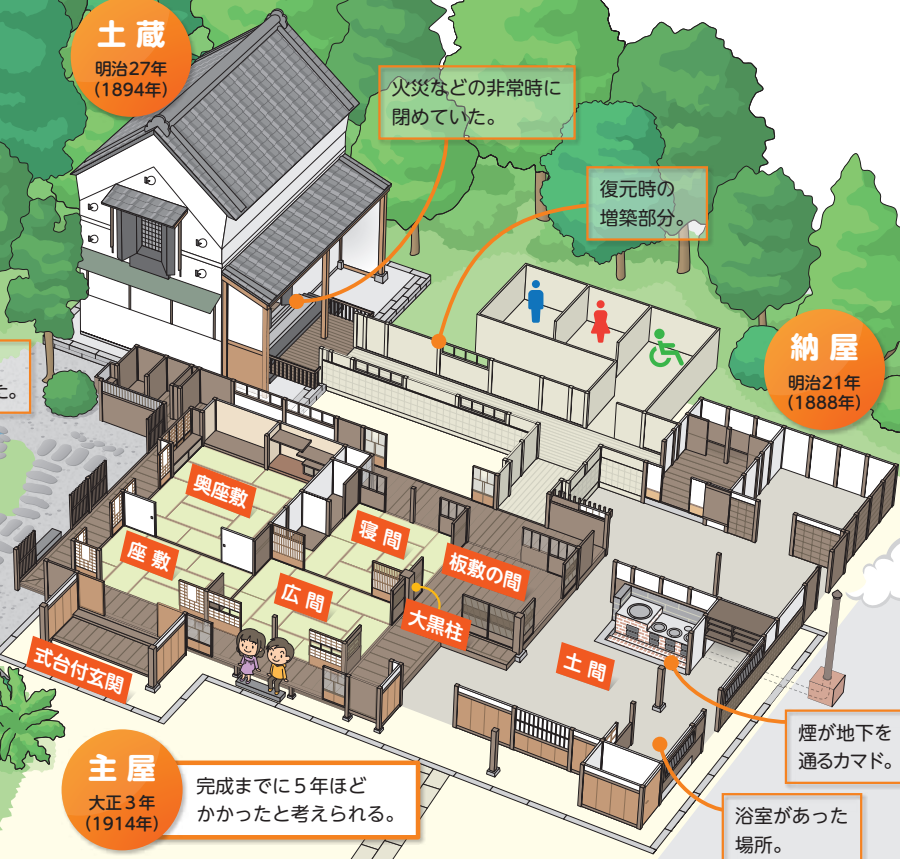
復元時の増築部分。

納屋
明治21年
(1888年)

かつては水がたたえられていた。



御嶽社
大正前期
奥多摩の御嶽神社
(盗難除け、魔除け、豊作の神様)をお祀りしていた。



主屋
大正3年
(1914年)
完成までに5年ほどかかったと考えられる。

煙が地下を通るカマド。

浴室があった場所。

「西の蔵」と呼ばれる蔵が昭和50年代まであった。

東側
駐車場

敷地内
駐車場

灰
ひげんぼく
しゅうくい
松煙墨と漆喰を調合して灰色になっている。

積み上げた米俵が直接石に触れ、湿気をおびないように、木杵を組んでいる。

「前蔵」と呼ばれていた。

長屋門
明治19年
(1886年)



石蔵
昭和前期
房州石でつづられ、米蔵として使っていた。

かつては中村家所有の畑が広がっていた。

ケヤキの一枚板
年輪が似ており、一本の木から切り出されたか？